

連続書評研究会 「韓国政治の現在を考える」

東アジアだけでなく、世界全体におけるパワーバランスが大きく変化する現在において、韓国政治は、どのような内政・外交上の課題に直面し、どこに向かおうとしているのか。そして、その特徴はどのような点にあり、またそのダイナミズムは何によって規定されているのか。この連続書評研究会では、韓国政治に関する最新の研究業績の検討を通じて、これらの点に関する理解を深めていきたい。具体的には、立命館大学国際関係学部で長く教鞭を執られ、優れた研究を数多く発信してきた文京洙先生と、韓国の民主化に関する新たな知見を提供している若手研究者の李正吉先生をお招きし、新著に関する書評研究会を開催する。

研究会では、文先生と李先生に新著の内容をご報告いただき、相互にコメントしていただくことに加え、討論者として韓国社会に詳しい森類臣先生からコメントをいただき、ディスカッションを行う。この連続研究会を通じて、隣国である韓国の政治・社会に関する理解が深まれば幸いである。

第一回 文京洙『文在寅時代の韓国：「弔い」の民主主義』（岩波書店、2020年）書評研究会

- ・ 日時 3月12日（金）13時30分～16時30分
- ・ 会場 オンライン（Zoom）と存心館ZS204室
- ・ 報告者：文京洙（立命館大学国際関係学部特任教授）
- ・ 討論者：李正吉（人間文化研究機構総合人間文化研究推進センター研究員）
森類臣（大谷大学非常勤講師）
勝村誠（立命館大学政策科学部教授）

第二回 李正吉『韓国政治の転換点：「分断」と民主主義の力学』（国際書院、2020年）書評研究会

- ・ 日時 3月26日（金）13時30分～16時30分
- ・ 会場 オンライン（Zoom）と学而館GJ304室
- ・ 報告者：李正吉（人間文化研究機構総合人間文化研究推進センター研究員）
- ・ 討論者：文京洙（立命館大学国際関係学部特任教授）
森類臣（大谷大学非常勤講師）
加藤雅俊（立命館大学産業社会学部教授）